

2026年の第20回アジア競技大会の開催や、
2027年のリニア中央新幹線(品川-名古屋間)の開業を
控える名古屋市。

今後10年の間に、
この圏域は大きな飛躍のチャンスを迎えます。

名古屋市は「SDGs未来都市」として、
誰一人取り残さない、経済・社会・環境が調和した
持続可能で強靱な都市を構築していきます。

■アジア競技大会開催・リニア中央新幹線開業を見据えた
低炭素・先進モビリティ都市NAGOYAの構築(取組イメージ)

『低炭素・先進モビリティ都市への
挑戦』の参加企業数 **UP!**

リニア時代を迎える
名古屋経済の持続的な発展

- イノベーション拠点の設置・運営
- なごやみらい企業・女性スタートアップ創出プロジェクト
- 働きやすい企業の創出によるナゴヤの活性化プロジェクト

新規創業件数 **UP!**

国際的な都市間競争を
勝ち抜く交流拠点都市の形成

- 先進モビリティの社会実装
- 新たな路面公共交通システム(SRT)の導入
- リニア中央新幹線開業に向けた都心部のまちづくり

経済

社会

名古屋が誇る
“協働力”を礎に
つなぐ未来創造プロジェクト

～なごや環境大学SDGs
未来創造クラブの推進～

- ① 低炭素・先進モビリティ都市への挑戦プロジェクト
- ② 次世代を担う子どもたちによる継承プロジェクト

二酸化炭素排出量
(自動車) **DOWN!**

環境

市内の鉄軌道及び
市バスの1日当たり
乗車人員合計 **UP!**

省エネルギー等環境に
配慮した事業活動に
取り組んだ
市内中小企業の割合 **UP!**

なごや環境大学を
支える団体数 **UP!**

低炭素都市・
自然共生都市の実現

- 水素エネルギーの利活用の推進
- 低炭素なライフスタイル・ビジネススタイルの推進
- 生物多様性の主流化

※SDGs未来都市計画掲載プロジェクト イメージ図

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

「SDGs未来都市」名古屋は、
世界に冠たる「NAGOYA」へ

持続可能な開発目標(SDGs)とは

平成27(2015)年9月の国連サミットにおいて、持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)を含む「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。

SDGsとは、世界共通の目標として、健康や教育、経済成長、気候変動に関するものなど、多岐にわたる17の持続可能な開発目標と169のターゲットが設定されており、いずれも令和12(2030)年までの達成をめざすものです。

すべての関係者(先進国、途上国、民間企業、NGO、有識者等)の役割を重視し、「誰一人取り残さない」社会の実現をめざし、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組むものとされています。



「SDGs未来都市」に選定されました



SDGs未来都市選定証授与式
(中央が名古屋市堀場副市長。愛知県、豊橋市とともに撮影)

名古屋市は、令和元年7月、内閣府より、持続可能な開発目標(SDGs)達成に向けた優れた取組を提案する自治体「SDGs未来都市」に選定されました。

SDGsは国際社会全体の普遍的な目標であり、地域の持続的な発展にとっても大変重要な目標です。名古屋市としても、この圏域にとって飛躍のチャンスとなる2026年の第20回アジア競技大会の開催、2027年のリニア中央新幹線(品川-名古屋間)の開業に向けて、誰一人取り残さない、経済・社会・環境が調和した持続可能で強靱なまちづくりに取り組んでまいります。

名古屋市は、官民連携の推進に向けた以下の取組に参加しています

『SDGs日本モデル』宣言

平成31年1月30日に開催された「SDGs全国フォーラム2019」において発表された「SDGs日本モデル」宣言に本市も賛同し、持続可能なまちづくりに向けて自治体間や官民の連携を進めてまいります。

『地方創生SDGs官民連携プラットフォーム』

より一層の地方創生に向けて、SDGs達成のための課題解決に取り組む官民の連携創出を支援することを目的として設立された、地方創生SDGs官民連携プラットフォームに参加しています。

問い合わせ:名古屋市総務局企画部企画課 TEL:052-972-4080/FAX:052-972-4418/Email:somu-kikaku@somu.city.nagoya.lg.jp

名古屋市公式ウェブサイト

